

家庭学習

小学校版

～保護者用リーフレット～

の手引き

佐賀県教育委員会 平成30年4月



家庭学習の習慣化で、
子どもたちの「学ぶ力」を
育てましょう！

家庭学習の習慣化を支えるわが家のひと工夫

音読を親子で
一文ずつ、交代で読む
ようにしたら、息子が
音読を楽しんで
するようになりました。
(小1男子の父)

整理・整とんが
できたとき、
ほめるようにしたら、
忘れ物がなくなりました。
(小4男子の母)

夕食準備中に
目の前の食卓で
勉強させるように
したら、集中して
学習するようになり
ました。
(小2女子の母)

ゲーム機は、
夜9時には、居間
に置くルールを
親子で決めました。
(小5男子の父)

何かできた
ときに「すごい！」
「やればできるね！」
とほめると、やる気
が出るようです。
(小3男子の祖母)

『ゲームは、1日
1時間まで。約束事を
守れなかったら、ゲーム
禁止』というルールを本人が
決めました。自分で決めた
日から、守ることが
できています。
(小6男子の母)

宿題と明日の
準備ができているかを
親子で確認して、
カレンダーに○を付ける
ようにしたら、忘れ物が
なくなり、宿題も自分から
進んでするようになり
ました。
(小2女子の母)

孫に地球儀を
買ってあげたら、
世界の国々のことに
興味をもつようになり
ました。
(小5女子の祖父)

わが家では、子どもが
勉強する時間は、親も本や
新聞などを読み、勉強する
雰囲気づくりをしています。
(小5女子の父)



「家庭学習の習慣化を支えるわが家のひと工夫」は
佐賀県PTA連合会の保護者などからの声です。

家庭学習の習慣化4つのススメ

その1 生活のリズムを整えましょう!

その2 学ぶ雰囲気をつくりましょう!

その3 小さな「がんばり」を見つけ、ほめてあげましょう!

その4 家族の対話を大切にしましょう!

読書も習慣化を!

読書でひらく心と世界
めくるページ、広がる想像

読書も習慣化するために、「読書ノート」を作ってみましょう。感想や本の中の好きな言葉を記録して家族で共有してはいかがでしょうか。たくさんの出会いの中から運命の一冊に出会えるかもしれません。

家庭学習を習慣化することで、がんばりぬく力や授業の集中力が高まったり、いろいろな学習分野への興味関心が深まったりします。

家庭学習の習慣化4つのススメはそのような力を大きく支えます。



家庭での関わり方のポイント!

「なぜだろうね」「どうしてかな」などの声かけを

疑問に思ったことを調べる習慣を身に付けさせることが大切です。子どもから質問されたら一緒に調べましょう。



一緒に挑戦を

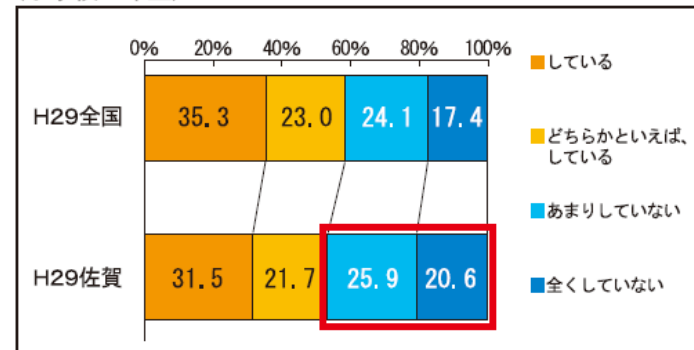
時には、子どもと一緒に問題に挑戦することで、子どものやる気にもつながります。

宿題をしっかりと確認

子どもの学習の理解度を宿題で確認しましょう。がんばりをほめたり、学校での学習内容を尋ねたりすると対話するきっかけにもなります。

平成29年度 全国学力・学習状況調査（児童質問紙より）
「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか」

（小学校6年生）



佐賀県の子どもたちは、約5割が決めていないと答えています。子どもと一緒にルールを決めて取り組んでいくことが自立への第一歩です。



※無回答等があるため合計が100になりません。

③

その1

○子どもが自分で守るように、テレビを見る時間やゲームをする時間、家庭でのルールなどを話し合っ
て決めましょう。

例えば、

早寝、早起き、朝ごはん
次の日の準備は寝る前に
起きる時間、寝る時間を決めて

生活のリズムを整えましょう！

その2

○決めた時間になったら学習に向かうように、家族が
協力して、学習に向かう雰囲気をつくりましょう。

例えば、

身のまわりの整理・整頓
テレビを消すなど学習に集中できる環境を
学習と休けいのメリハリを

学ぶ雰囲気をつくりましょう！

家庭学習の習慣化4つのススメ

～わが家の場合～ ご家庭での約束事を決めてみましょう！

その3

○子どもが自分で進んでしたことや努力したことを
見逃さず、一言声かけを行いましょう。

例えば、

結果はもちろん、がんばった過程も大切に
失敗は成功のもと、いいところを見つける
子どもの“よさ”を具体的にほめる

小さな「がんばり」を見つけ、ほめてあげましょう！

その4

○子どもの話をしっかり聞いて、保護者からも話を
するようにしましょう。

例えば、

家族の中でのあいさつを大切に
学校からの便りや連絡帳に目を通す
自分の体験を話す
家族の一員としてのお手伝いを

家族の対話を大切にしましょう！

④

家庭学習の習慣化に向けて力を入れてほしいこと!

- ① 家族であいさつをする雰囲気をつくる
- ② 朝食はいつも同じ時間にとれるようにする
- ③ 十分な睡眠時間を確保できるようにアドバイスする
- ④ 身のまわりの整理・整とんをするように促す
- ⑤ テレビやゲームなどの時間を子どもと一緒に決める
- ⑥ 家族で一緒に読書や学習に取り組む時間をつくる
- ⑦ 「がんばり」を見逃さず心からほめる
- ⑧ 子どもの話に耳を傾け、その日の出来事などを話題にする
まずはできることから始めましょう

継続と徹底

どんなによい取組でも、一過性のものでは本当の力にはなりません。大切なことは、その取組を「継続すること」「徹底すること」ではないでしょうか。学習習慣や生活習慣について、子どもたちの学びの環境を整えていきましょう。

【リーフレットの使い方】

このリーフレットは、各家庭で「家庭学習の習慣化4つのススメ」を具体的に実践していただけるよう、①わが家のひと工夫の事例 ②家庭での関わり方のポイント ③家庭での約束事の作成 ④家庭学習の習慣化に向けて力を入れてほしいこと という視点から作成しています。ご家庭で、わが家に一番あったページをお選びいただき、掲示するなどして活用ください。
家庭と学校が連携しながら、家庭学習を充実させ、子どもたちの学力向上を図っていきましょう。

わが家の家庭学習!

学習習慣をつける1、2年生
一緒に学習して、やる気をおこさせる

家庭学習の内容 (Aさんの場合)

学校の宿題とは別に、カタカナの練習のためにクイズ形式で問題を出して自由帳に書かせるようにしています。

自ら机に向かう3、4年生
認めて、ほめて、自信をつける

家庭学習の内容 (Bさんの場合)

計算練習をする前に、目標時間を決めて時間を計りながら行うようにしています。目標時間内に終わったときは一緒に喜び、自信をつけさせています。

自力で学習を進める5、6年生
見守って、伸ばす

家庭学習の内容 (Cさんの場合)

自主学習に取り組むときは、その日に学校で学習した内容をノートにまとめ、最後に気づいたことや分かったことなどを書くようにしています。書いた内容を後で読んで、会話をするようにしています。

学力向上に関する県のHPは、こちらから

